

ログイン日時 : 2021年01月04日 00時18分50秒 | 文 景楠 (教員) |

[× ログアウト](#)

## シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

## シラバス情報

## 授業情報

授業コード	3232540000	開講キャンパス	泉
授業開講年度	2021年度		
科目コード	5102129920	科目分類	専門科目
科目名称	原典講読 B		
科目英字名称	Reading of Original Texts B		
単位数	1.0		
履修期	後期授業	抽選対象	対象外
代表教員番号	8912741	シラバス投稿状況	投稿完了
担当者	佐伯 啓		
テーマ	ドイツ語の引用句		
講義内容	<p>ドイツ人同士の会話を聞いたりドイツの雑誌や本を読んでいると、その言語圏の人間にしかわからないような、あるいはそれを知っていることが教養の前提となっているような引用句やそのパロディがたくさん出てきます。外国語学習において、語彙や文法の修得だけではなかなか十分な理解にまで至らないのはこういった部分です。</p> <p>この授業では、引用句やことわざを研究するフラゼオロギー (Phraseologie、慣用語法論) の基本文献を読むことから始め、ドイツ語圏で広く知られている引用句 (歴史的人物の有名な言葉、童話・小説・哲学書などのよく知られた一節、ヒット曲や映画から流行ったセリフ、流行語等) に関する知識を増やしながら、同時にそれらの修辭的機能を考察します。</p>		
達成目標	<p>① ドイツ語の専門書を精確に読解することができる。</p> <p>② 会話や書物の中に頻繁に出てくるドイツ語の引用句の意味がわかる。</p> <p>③ フラゼオロギーに関する基本的事項を他者にわかりやすく説明できる。</p>		
授業計画 第1回	<p>【事前学修】前期の授業内容をもう一度復習しておく。</p> <p>【授業内容】後期用オリエンテーションと資料配付</p> <p>【事後学修】配付された資料の中身を確認する。</p>		
授業計画 第2回	<p>【事前学修】前回配付された資料をよく読んでおく。</p> <p>【授業内容】G.Büchmann:Geflügelte Worteに関する解説 (教員が担当)</p> <p>【事後学修】きょうの授業で扱った内容について復習する。</p>		
授業計画 第3回	<p>【事前学修】テキストの担当箇所の下調べをし、どんな質問にも答えられるように準備する。</p> <p>【授業内容】文献読解 G.Büchmann:Geflügelte Worte 1 (担当学生)</p>		

	<p>【事後学修】きょう担当した箇所の日本語訳と解説ノートを作成し、次回配付する。</p>
授業計画 第4回	<p>【事前学修】テキストの担当箇所の下調べをし、どんな質問にも答えられるように準備する。</p> <p>【授業内容】文献読解 G.Büchmann:Geflügelte Worte 2 (担当学生)</p> <p>【事後学修】きょう担当した箇所の日本語訳と解説ノートを作成し、次回配付する。</p>
授業計画 第5回	<p>【事前学修】テキストの担当箇所の下調べをし、どんな質問にも答えられるように準備する。</p> <p>【授業内容】文献読解 G.Büchmann:Geflügelte Worte 3 (担当学生)</p> <p>【事後学修】きょう担当した箇所の日本語訳と解説ノートを作成し、次回配付する。</p>
授業計画 第6回	<p>【事前学修】テキストの担当箇所の下調べをし、どんな質問にも答えられるように準備する。</p> <p>【授業内容】文献読解 G.Büchmann:Geflügelte Worte 4 (担当学生)</p> <p>【事後学修】きょう担当した箇所の日本語訳と解説ノートを作成し、次回配付する。</p>
授業計画 第7回	<p>【事前学修】テキストの担当箇所の下調べをし、どんな質問にも答えられるように準備する。</p> <p>【授業内容】文献読解 G.Büchmann:Geflügelte Worte 5 (担当学生)</p> <p>【事後学修】きょう担当した箇所の日本語訳と解説ノートを作成し、次回配付する。</p>
授業計画 第8回	<p>【事前学修】テキストの担当箇所の下調べをし、どんな質問にも答えられるように準備する。</p> <p>【授業内容】文献読解 G.Büchmann:Geflügelte Worte 6 (担当学生)</p> <p>【事後学修】きょう担当した箇所の日本語訳と解説ノートを作成し、次回配付する。</p>
授業計画 第9回	<p>【事前学修】テキストの担当箇所の下調べをし、どんな質問にも答えられるように準備する。</p> <p>【授業内容】文献読解 G.Büchmann:Geflügelte Worte 7 (担当学生)</p> <p>【事後学修】きょう担当した箇所の日本語訳と解説ノートを作成し、次回配付する。</p>
授業計画 第10回	<p>【事前学修】テキストの担当箇所の下調べをし、どんな質問にも答えられるように準備する。</p> <p>【授業内容】文献読解 G.Büchmann:Geflügelte Worte 8 (担当学生)</p> <p>【事後学修】きょう担当した箇所の日本語訳と解説ノートを作成し、次回配付する。</p>
授業計画 第11回	<p>【事前学修】自分が担当した箇所のレジюмеを作成しておく。</p> <p>【授業内容】担当箇所について口頭発表する。(グループA:聖書に絡む引用句)</p> <p>【事後学修】今日発表した内容についてレジюмеを作り直し、次回配付</p>

	する。
授業計画 第12回	<p>【事前学修】自分が担当した箇所のレジюмеを作成しておく。</p> <p>【授業内容】担当箇所について口頭発表する。(グループB:ドイツ文学に絡む引用句)</p> <p>【事後学修】今日発表した内容についてレジюмеを作り直し、次回配付する。</p>
授業計画 第13回	<p>【事前学修】自分が担当した箇所のレジюмеを作成しておく。</p> <p>【授業内容】担当箇所について口頭発表する。(グループC:外国文学に絡む引用句)</p> <p>【事後学修】今日発表した内容についてレジюмеを作り直し、次回配付する。</p>
授業計画 第14回	<p>【事前学修】自分が担当した箇所のレジюмеを作成しておく。</p> <p>【授業内容】担当箇所について口頭発表する。(グループD:歴史的人物に絡む引用句)</p> <p>【事後学修】今日発表した内容についてレジюмеを作り直し、次回配付する。</p>
授業計画 第15回	<p>【事前学修】ここまでの授業で読んだテキストの内容を復習しておく。</p> <p>【授業内容】フラゼオロジーおよびドイツ語引用句に関するまとめ、ミニ論文課題に関する説明</p> <p>【事後学修】授業全体を振り返り、読解したテキストを整理する。</p>
授業計画 第16回	
授業計画 第17回	
授業計画 第18回	
授業計画 第19回	
授業計画 第20回	
授業計画 第21回	
授業計画 第22回	
授業計画 第23回	
授業計画 第24回	
授業計画 第25回	
授業計画 第26回	
授業計画 第27回	

授業計画 第28回	
授業計画 第29回	
授業計画 第30回	
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当箇所に関する発表とレジюме作成（数回）60%</li> <li>・ミニ論文（1回）20%</li> <li>・授業への積極性（議論への参加と予習度それぞれ10%で計20%）</li> </ul> 観点ごとの配点は授業時にプリントで明示する。
学修に必要な準備	① ドイツ語の辞書と文法教科書を毎回持参すること。 ② 自分の担当以外の箇所も毎回予習を欠かさないこと。
関連して受講することが望ましい科目	
テキスト	コピーを用意する。
参考文献	授業の中でそのつど紹介する。
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この授業は対面で行ないますが、新型コロナの状況によっては遠隔授業に変更される場合もあります。</li> <li>・病気等やむを得ない場合を除き、授業を休まないこと。</li> <li>・オフィスアワーと連絡先は開講時に知らせる。</li> </ul>
カリキュラム中での位置付け及び教育目標との関連	この科目とディプロマ・ポリシーとの関係については、学科の「カリキュラムマップ」を参照のこと。 【アクティブラーニング科目】 【科目ナンバリング】 A0-640-47-3R-3
添付ファイル1	説明1
添付ファイル2	説明2
添付ファイル3	説明3
添付ファイル4	説明4
添付ファイル5	説明5
関連URL1	
関連URL2	
関連URL3	

## 教室情報

項番	履修年度	開講期	曜時	使用開講期	教室
1	2021年度	後期授業	木曜 2校時	後期授業	泉) 31B 講義室

## カリキュラム情報

項番	学生区分	所属区分	学部	学科	専攻・コース	適用入学年度
1	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2011年度～2011年度

2	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2012年度～2012年度
3	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2013年度～2014年度
4	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2015年度～2016年度
5	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2015年度～2018年度
6	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2017年度～2018年度
7	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2019年度～2019年度
8	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2019年度～2100年度
9	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科		2020年度～2100年度
10	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2011年度～2011年度
11	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2012年度～2012年度
12	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2013年度～2014年度
13	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2015年度～2016年度
14	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2015年度～2018年度
15	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2017年度～2018年度
16	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2019年度～2019年度
17	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2019年度～2100年度
18	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	ドイツ語コース	2020年度～2100年度
19	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2011年度～2011年度
20	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2012年度～2012年度
21	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2013年度～2014年度
22	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	フランス語コース	2015年度～2016年度

23	学部生	学部生	教養学部 ス	言語文化学科	フランス語コー	2015年度～2018年 度
24	学部生	学部生	教養学部 ス	言語文化学科	フランス語コー	2017年度～2018年 度
25	学部生	学部生	教養学部 ス	言語文化学科	フランス語コー	2019年度～2019年 度
26	学部生	学部生	教養学部 ス	言語文化学科	フランス語コー	2019年度～2100年 度
27	学部生	学部生	教養学部 ス	言語文化学科	フランス語コー	2020年度～2100年 度
28	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2011年度～2011年 度
29	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2012年度～2012年 度
30	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2013年度～2014年 度
31	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2015年度～2016年 度
32	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2015年度～2018年 度
33	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2017年度～2018年 度
34	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2019年度～2019年 度
35	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2019年度～2100年 度
36	学部生	学部生	教養学部	言語文化学科	中国語コース	2020年度～2100年 度
37	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2011年度～2011年 度
38	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2012年度～2012年 度
39	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2013年度～2014年 度
40	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2015年度～2016年 度
41	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2015年度～2018年 度
42	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2017年度～2018年 度
43	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2019年度～2019年 度

44	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2019年度～2100年 度
45	学部生	学部生	教養学部 コース	言語文化学科	韓国・朝鮮語	2020年度～2100年 度

[戻る\(X\)](#)

Copyright(C) TOHOKU GAKUIN All Rights Reserved.